

令和8年度 夏休み前 全校集会 校長講話

夏休みの前に、私は今までの校長講話では一度もしたことがない「勉強」の話をしたいと思います。

今年度、本校では3年生の講習を大きく見直しました。今までの夏期講習は、ほとんどの人が時間割に組まれた全教科の講習を受けていました。今年は各自に選択をしてもらいました。「文型ハイレベル数学」「基礎から固める力学」「文法総合演習」「中国史特講」など、先生方がそれぞれ必要だと思う内容を提示し、生徒がそれを選ぶ形としました。もちろん選ばない自由もあります。その単元はすでに理解している。自学の方が学べるという人は、自分で学ぶ自由があるのです。

県内の進学校で前例がないこの講習形態は、本校の教員においても大きな挑戦です。不思議なことに講習を自由にしたら「学ばない生徒が出るのでは」と危惧する声は、実は誰からも出ませんでした。私たちが「皆さんたちに学ぶ力があること」を信じているからです。教員もワクワクしながら講習内容を考えました。

「学ぶ」ことは「ただ、座って教師の指示に従っている」ことではありません。「学ぶこと」は「考えること」です。「なぜ学ぶのか」「何をどう学ぶのか」を自分の頭で考える事なのです。皆さんが本気でこの講習を受講すれば、あるいは受講せず、本気で自ら学べば、この夏休みの間に大きく力を伸ばすと思います。

1, 2年生の皆さんは、勉強以外でも何かに挑戦する夏休みを過ごしてください。オープンキャンパスに行く、旅行、アルバイト。何でもいいと思います。

私は高校時代、自分のことが嫌いでした。変わりたい。変わりたい。誰かが変えてくれないか。何か特別なことが起こったら変われるのではないか。と思っていました。でもそれは違いました。自分を変えるのは自分でしかないし、特別なことが起きるのではなく、自分の中の「小さな決心」の積み重ねで人は変わっていくものでした。

どうか変わりたい自分や挑戦したいことを思い描いて、ひとり静かに心の中で決心をして、この夏休みを過ごしてください。当たり前ですが、もう二度と高校1年、2年、そして3年の夏休みは返ってきません。家族との時間も大切にしてください。

我々教員にとっても、挑戦をする夏休みにしたいと思います。
お互いにいい夏休みにしましょう。